

**沖縄総合事務局 開発建設部 建設コンサルタント業務審査委員会
議事概要(港湾空港所管)**

開催日及び場所		平成25年6月28日(金) 沖縄総合事務局 4階 事業審査室	
委 員		委員長 原 久夫 (琉球大学工学部環境建設工学科 准教授) 委 員 下里 哲弘 (琉球大学工学部環境建設工学科 准教授) 委 員 神谷 大介 (琉球大学工学部環境建設工学科 助教授)	
対象案件		総件数 3 件	(備考)
建設 コンサ ルタ ント 業務 務	一般競争入札(総合評価落札方式)	2 件	
	公募型プロポーザル方式	件	
	簡易公募型プロポーザル方式	件	
	簡易公募型に準じたプロポーザル方式	1 件	
	標準プロポーザル方式	件	
	公募型総合評価落札方式	件	
	簡易公募型総合評価落札方式	件	
	簡易公募型に準じた総合評価落札方式	件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等		意 見 ・ 質 問	回 答
		別紙のとおり	別紙のとおり
委員による審議結果の内容		上記について、発注方式、評価基準、評価結果等の説明を行い、原案通り了承された。	

(別 紙)

意見・質問	回 答
<p>○事業の審議について</p> <p>1. 簡易公募型に準じたプロポーザル方式</p> <p>1) 平良港(漲水地区)工事影響検討業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 航行船舶の安全及び工事の円滑化を図るための「基礎資料」とするとあるが、「基礎資料」というと、事業着手前に整理する事前検討のように思える。どのような意味合いか。 ○ 業務の内容として、補償対応も念頭に置いているのであれば、補償協会への発注なども含め総合的に検討する必要があるのではないか。 <p>2. 一般競争入札(総合評価落札方式)</p> <p>1) 那覇港港湾業務艇定期整備補助業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一般競争入札(総合評価落札方式)での発注は馴染まないのではないか。 <p>2) 平成25年度 那覇空港滑走路増設環境調査業務</p> <p>実施方針「工程計画」における、調査時期、委員会実施時期の不適切評価に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特記仕様書等から、発注者の求める工程を読み取れるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事に伴い一般船舶が利用岸壁を変更する際、岸壁変更により離接岸時の支援船に係る費用について、原因者が事業者であるとして、場合によっては、事業者に求めてくることも念頭に検討する考え。このような意味合いから「基礎資料としている。」 ・検討にあたっては事務所内で分担している。類似事例の有無、行政としての判断はどうあるべきか等事務所内部の補償担当が情報収集するなどして検討している。本業務は、一般船舶の「操船性の把握」に特化して検討するものである。 <p>・次年度以降の発注方式を再検討し、より適切な方式で発注するようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境影響評価準備書や報道資料など一般に入手可能な資料等により、適正な工程計画は十分作成可能だと判断している。